

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜市立加納幼稚園		
実 施 期 間	平成26年11月30日(日)		
実 施 概 要	① 家族参観日(家族と一緒に作って遊ぶ) ② 講演会		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約 140 人	計 140 人
	地域関係者	0 人	
実 施 状 況	(1) 家族で遊ぶ会 ☆親子と一緒に協力して、遊ぶものを作ろう 3歳児「大型こま作り」 ・力強くクレパスで塗り込んだり、両手を使って回したりして、こま作りや遊びができる。 4歳児「パラシュート作り」 ・紐をテープでビニール袋に丁寧に貼ってパラシュートを作ったり飛ばしたりして楽しむ。 5歳児「凧作り(連凧)」 ・親子で相談しながら、丁寧にハサミで切って凧を作ったり、友達とつなげて揚げる事を喜び合ったりする。 (2) 講演会 演題：『身近なメディアが脳に及ぼす危険性』 ～今、問われる「コミュニケーション」の重要性～ 講師 今井 昌彦先生(愛知産業大学 経済学部教授) 内容・1日3時間以上のテレビゲームでゲーム脳になる。キレない子どもになるには「扁桃体(アクセル)」「46野」と「前頭前野(ブレーキ)」の関係が必要である。感情の暴走を防ぐために、扁桃体を健全に育てていくのが大切である。 ・食育(特に鮭)や本人と一番近い人との楽しいコミュニケーション、親、家族、先生、友達の笑い顔が脳のネットワークをつくっていき、扁桃体の成長につながる。 ・前頭前野の成長には、食事時の会話が大切。「あーそうだったね」と過去を思い出すことに効果がある。		
成 果 及 び 課 題	① 子どもたちは、親と一緒に絵を描くことを楽しんだり、自分でできるところ(ハサミで切ったり、糸を貼ったりなど)を集中して作る姿が見られた。また、作ったもので一緒に遊べるという利点があり、親子の満足感につながった。 ② 保護者の感想 ○牛乳パックで作るコマは、簡単で作りやすく、また子どもたちもペンやテープを使って飾り付けを工夫したり親が作る部分、子どもが作る部分と分担したりして作ることができたので、親子で一緒に作った作品ができてよかったです。家で回せるように一緒に遊ぶ時間をつくりたいと思います。 ○パラシュート作りでは、好きな絵をビニール袋に思いっきり描く姿や出来上がったら友達と一緒に飛ばして楽しい日でした。親子で作ったりすることが少ないのでこの機会に良かったと思います。 ○連凧では、子どもが自分の好きな絵を描いたり、親と一緒に考えながら作ったりしたことがとても楽しく、外に行っても走りながら凧で遊ぶことができました。 ○家族のコミュニケーションやじゃれつき遊びが子どもの脳の成長によいことが分かり、これからも続けていこうと思いました。子どもと楽しい笑顔の時間を過ごすのは大切だなと思いました。 ○ネット社会において分別のつく使い方を教えていくことが親の役目と痛感しました。そして、対話が大切と改めて感じ、いっぱい話しかけようと思いました。		